K-1トレンチ

K-1トレンチ
後方部上段葺石・埴輪列

K-1トレンチ
後方部下段葺石

K-2トレンチ

K-2トレンチ
後方部上段葺石

K-2トレンチ
後方部下段葺石

K-3トレンチ
後方部上段葺石

K-4トレンチ
（東側から）

K-4トレンチ４号墳
周溝内遺物出土状況
（西側から）

K-4トレンチ４号墳
周溝内埴輪列（東側から）

K-5トレンチ
後方部下段葺石

K-6トレンチ

KB-1トレンチ
後方部上段葺石・埴輪列
（調査中）

KB-2トレンチ
くびれ部葺石（南側から）

KB-2トレンチ
くびれ部葺石（西側から）

KB-2トレンチ
くびれ部葺石（南側から）

KB-2トレンチ
くびれ部葺石
最奥部コーナー階段状の
石の配列

KB-2トレンチ
前方部葺石
区画石列と考えられる石の
配列

KB-3トレンチ
くびれ部葺石（西側から）

KB-3トレンチ
埴輪列

Z-1トレンチ
後方部上段葺石・埴輪列
（調査中）

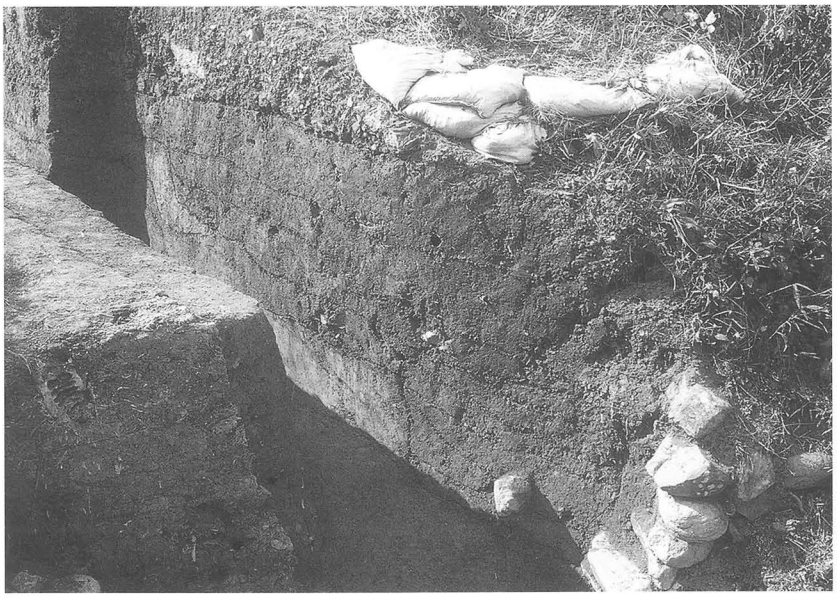
Z-1トレンチ
埴輪列

Z-1トレンチ
前方部石組遺構

Z-1トレンチ
前方部西側裾部

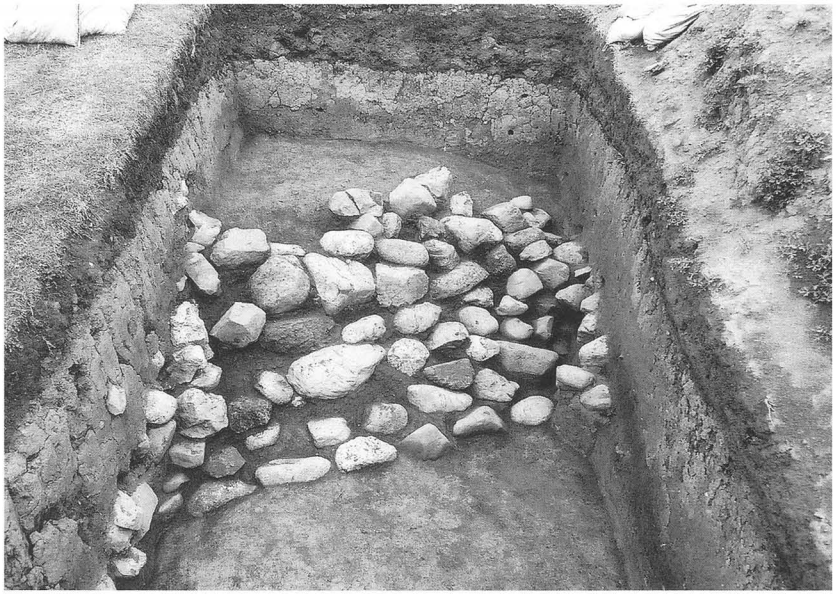
Z-1トレンチ
前方部西側裾部層位

Z-2トレンチ
前方部葺石



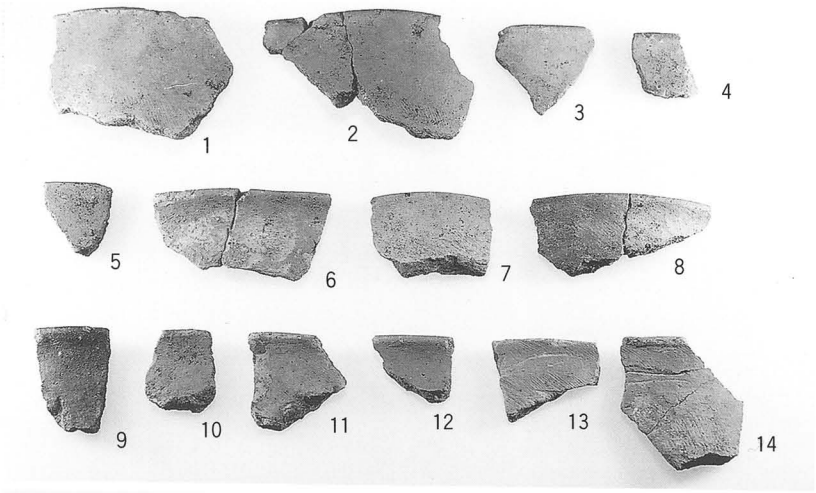
Z-3トレンチ
前方部北側裾部層位

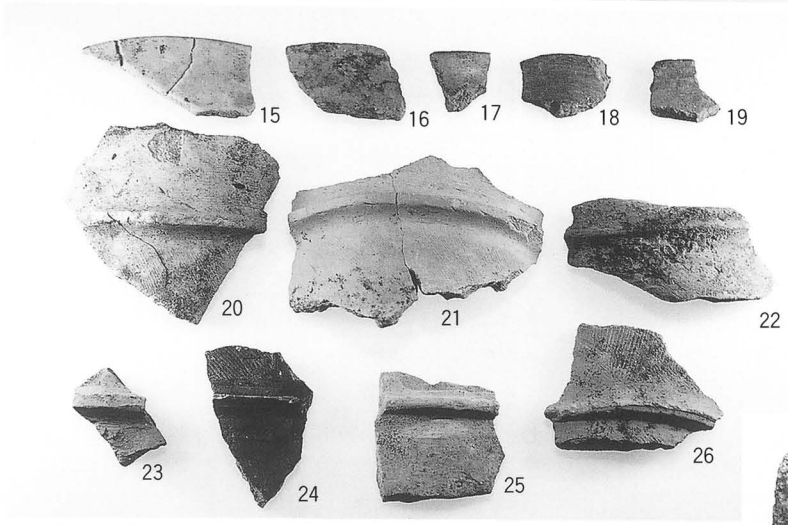
Z-4、Z-5トレンチ
前方部葺石

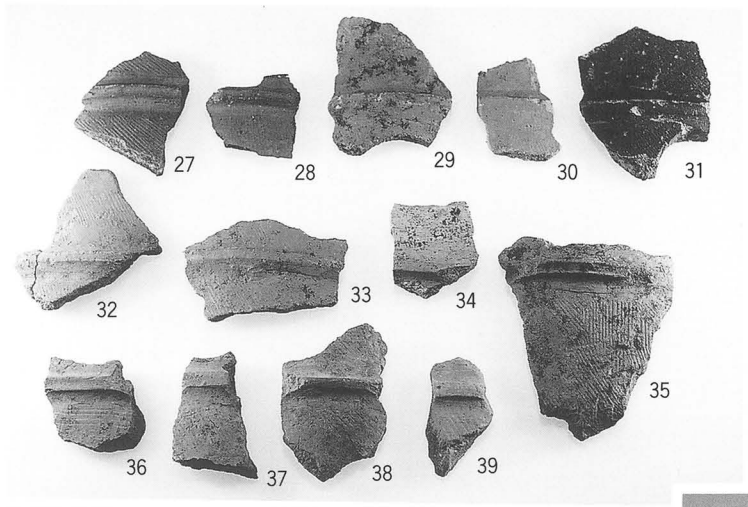


Z-4トレンチ
前方部葺石

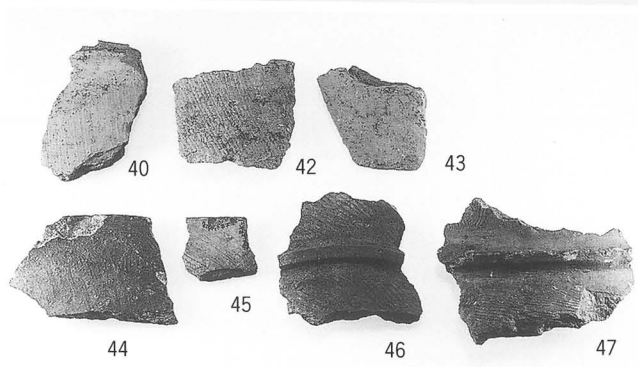
Z-5トレンチ
前方部葺石

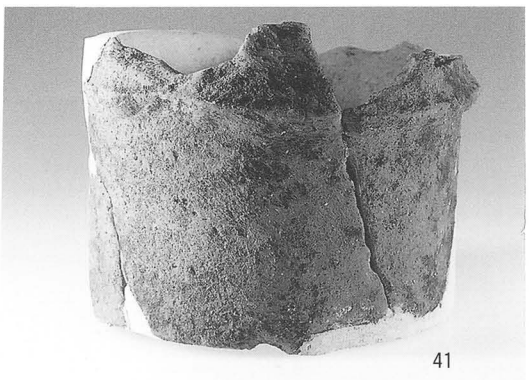

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14


15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26

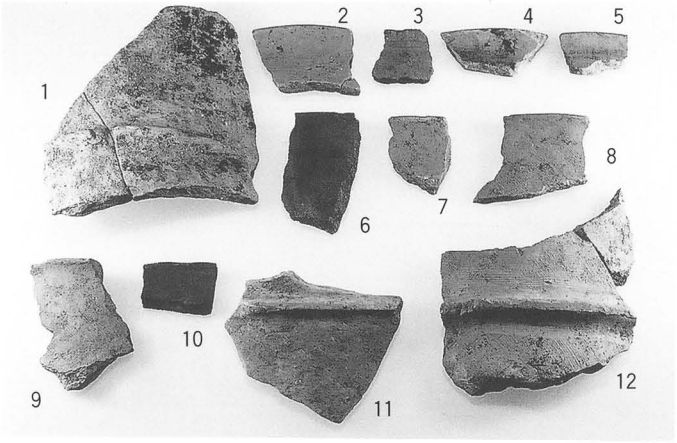

27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39

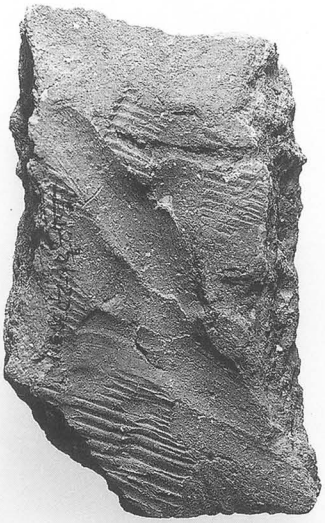
35内面


40
42
43
44
45
46
47

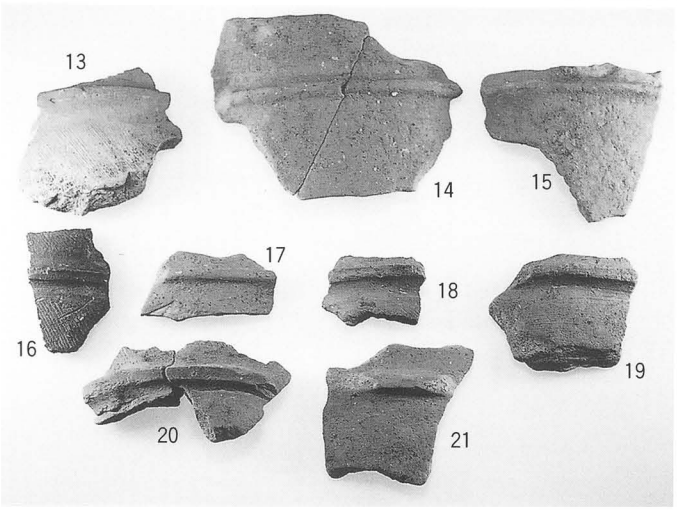

41

K-1トレンチ出土遺物

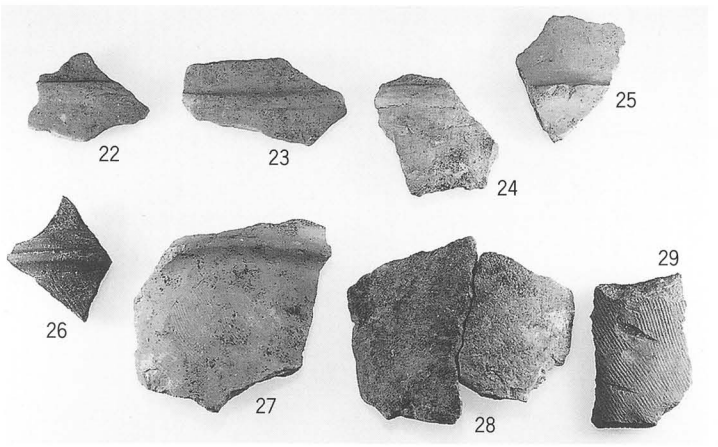


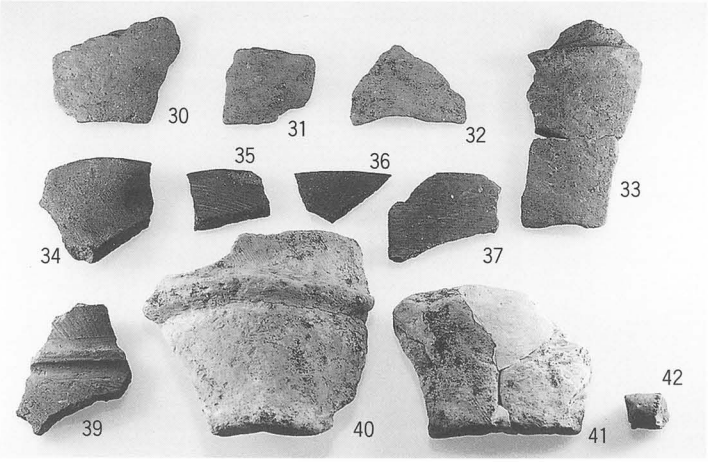


29内面

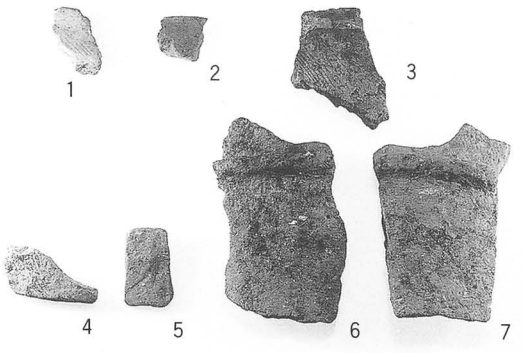


30内面

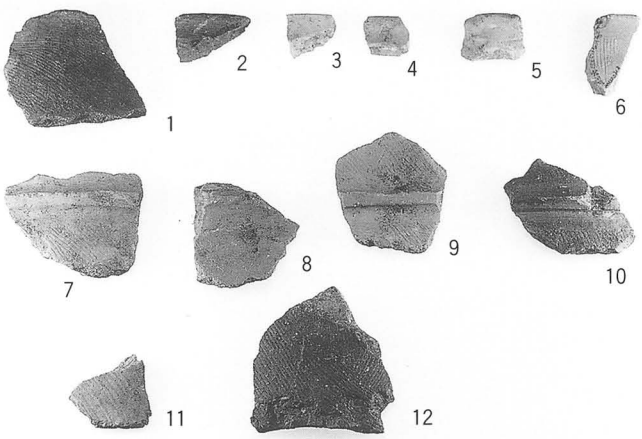




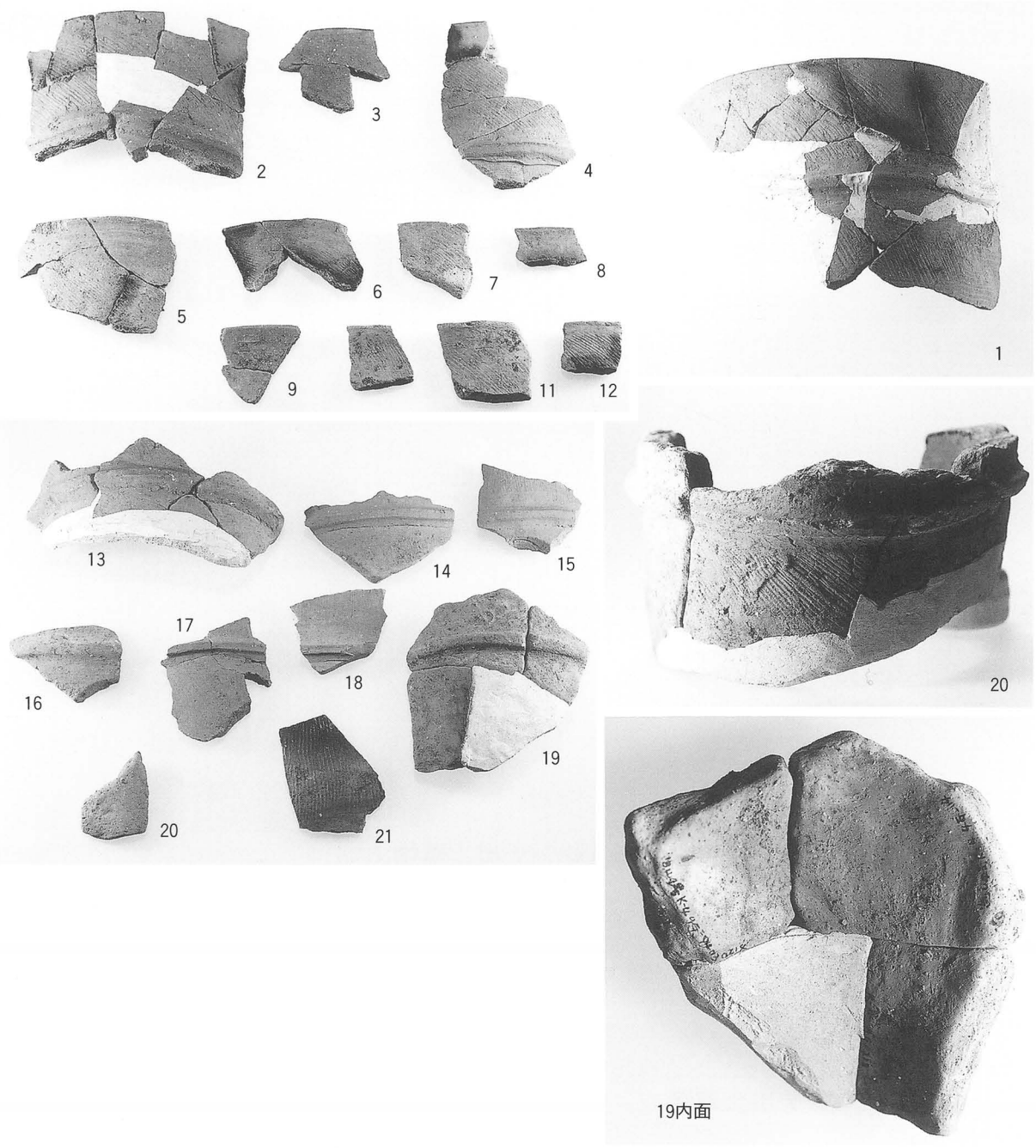
K-2トレンチ出土遺物



K-3トレンチ出土遺物

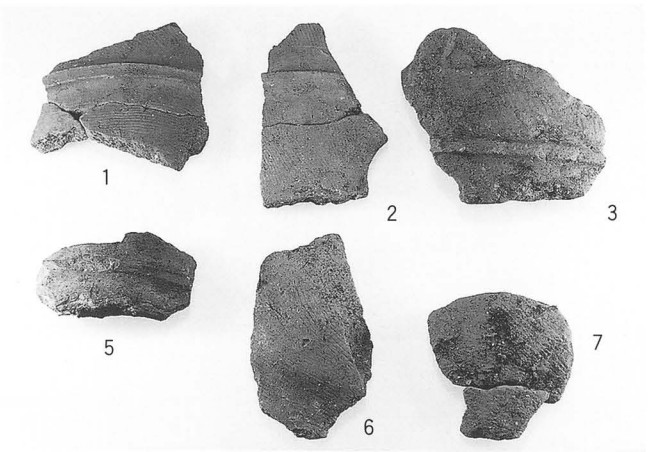


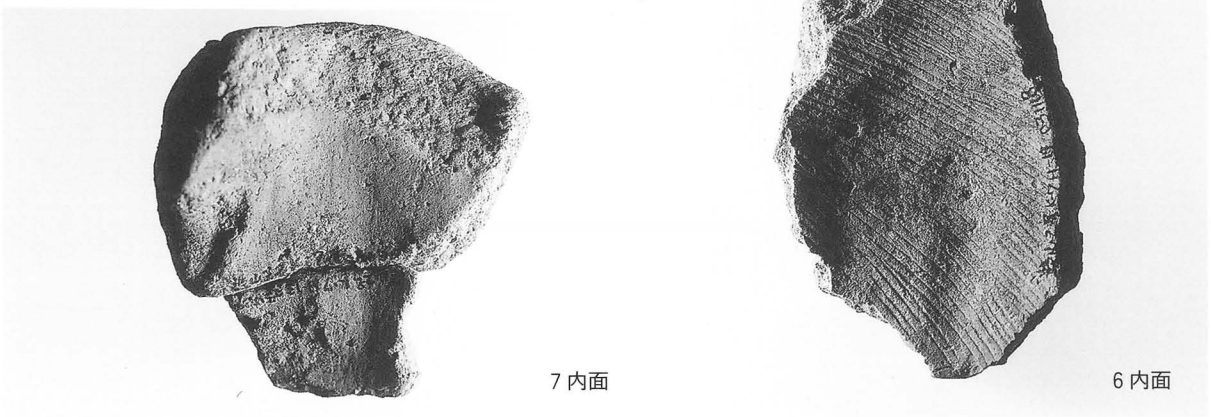
K-4トレンチ（２号墳）出土遺物



K-4トレンチ（４号墳）出土遺物（１）

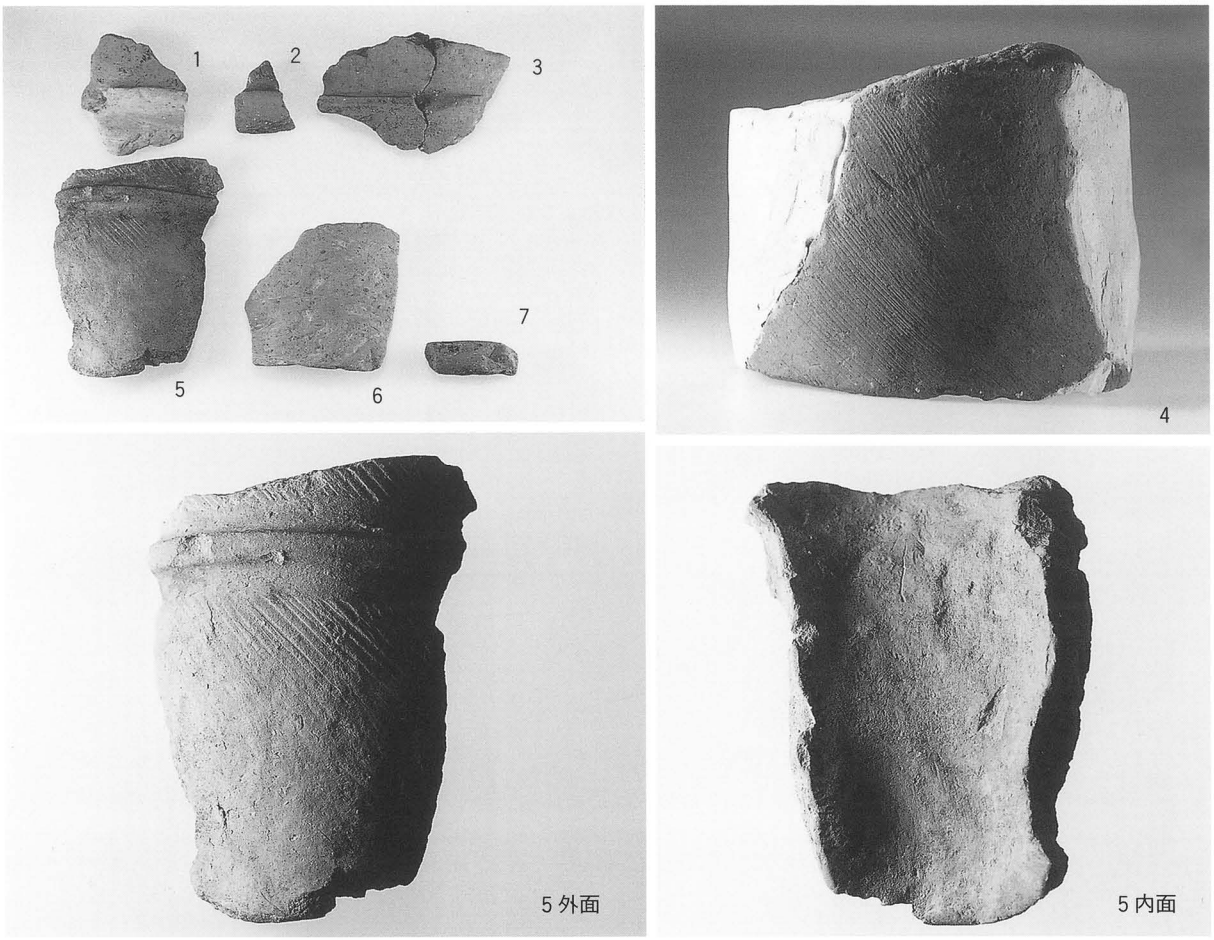
K-4トレンチ（４号墳）出土遺物（２）



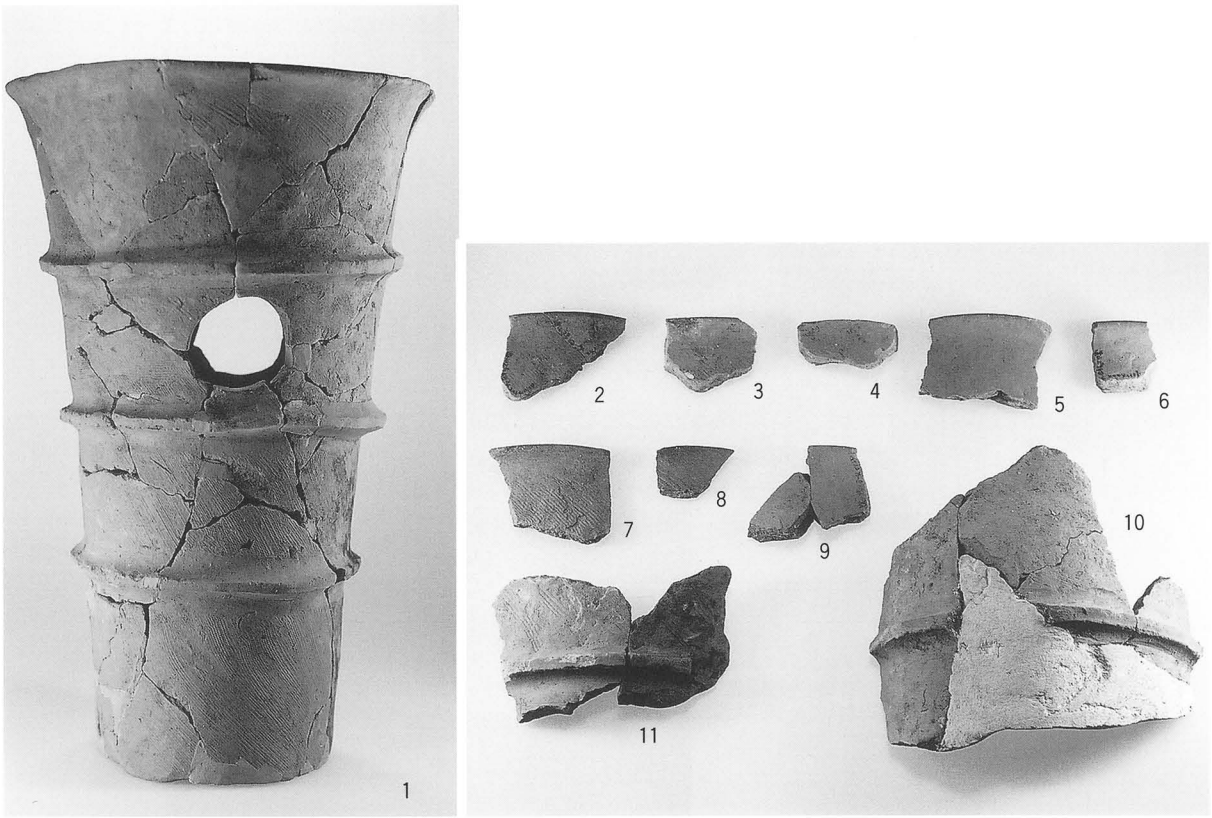


K-5トレンチ出土遺物

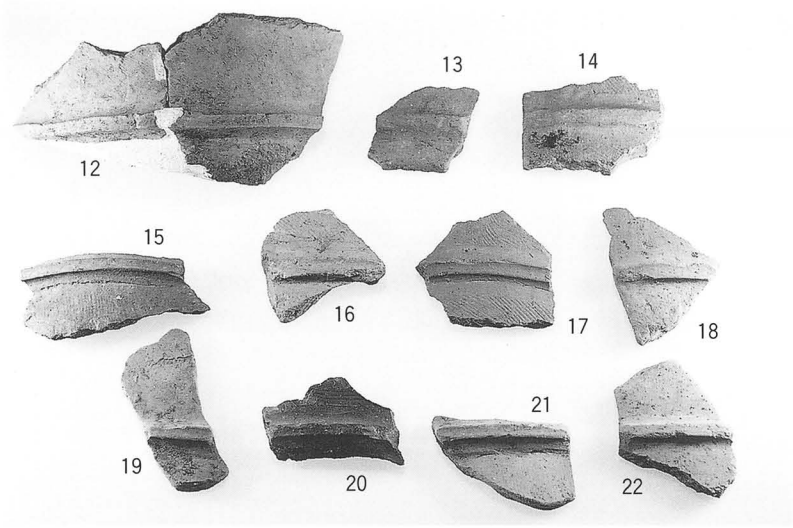
K-6トレンチ出土遺物

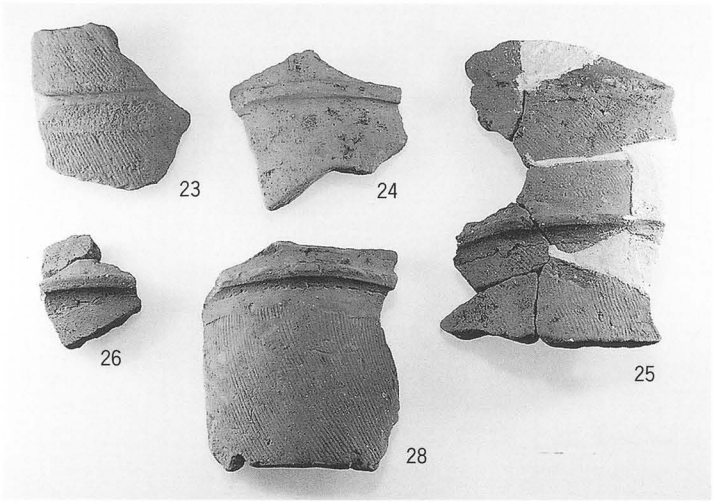


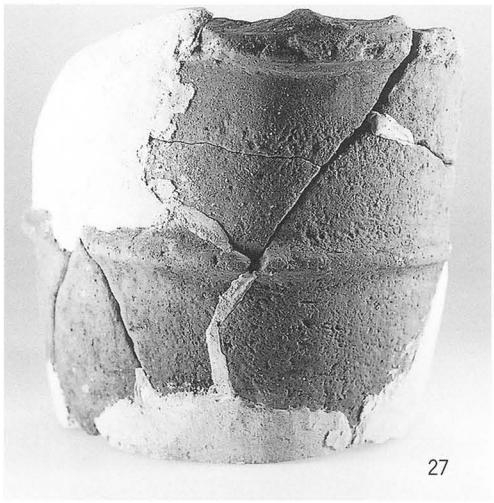
KB-1トレンチ出土遺物

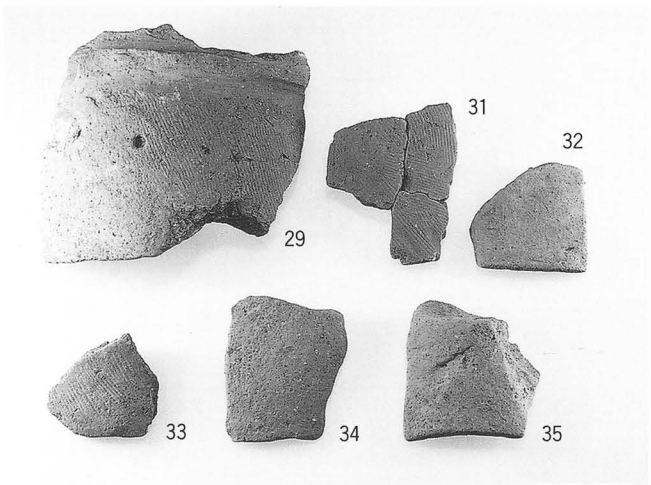


KB-2トレンチ出土遺物（１）

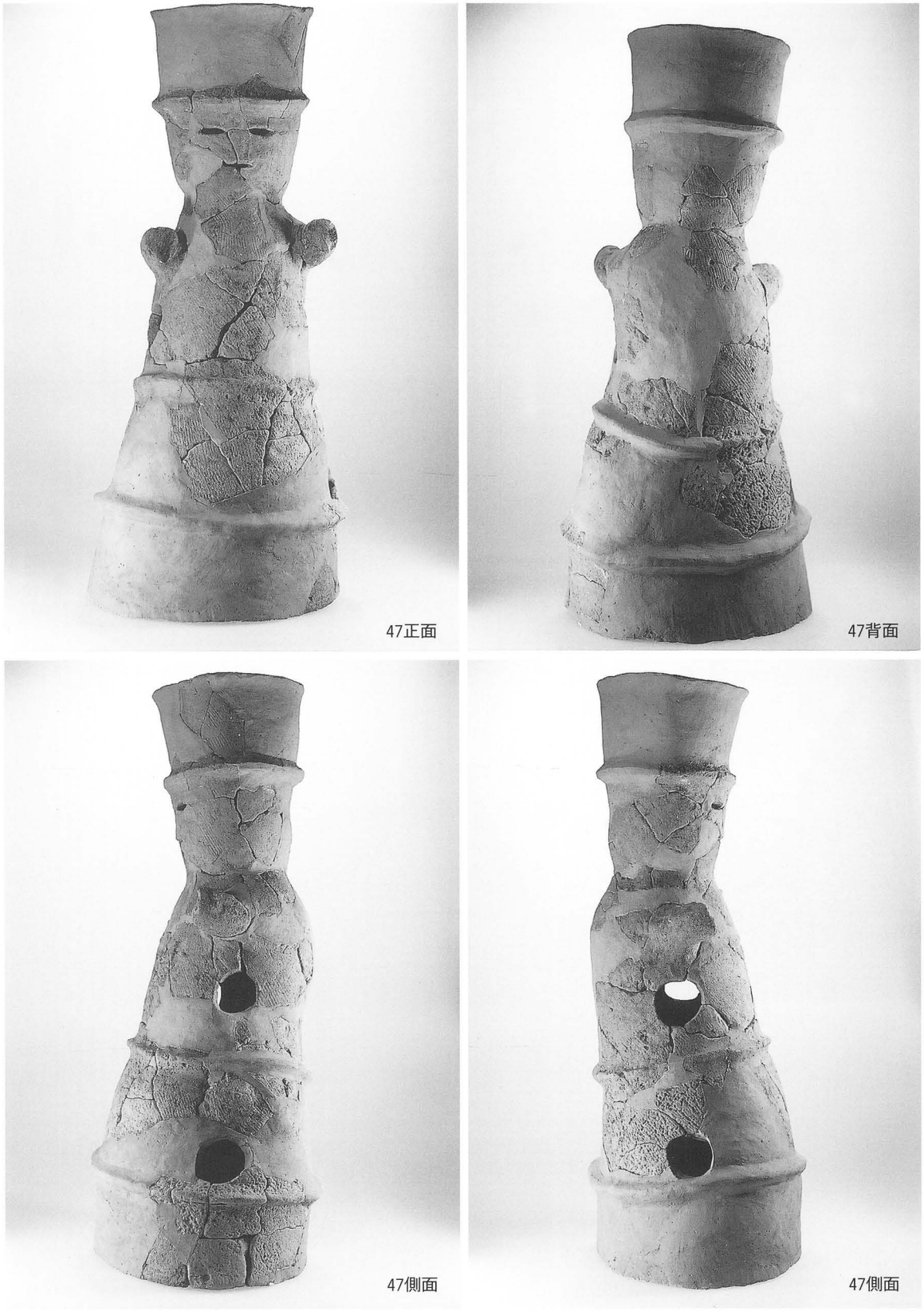




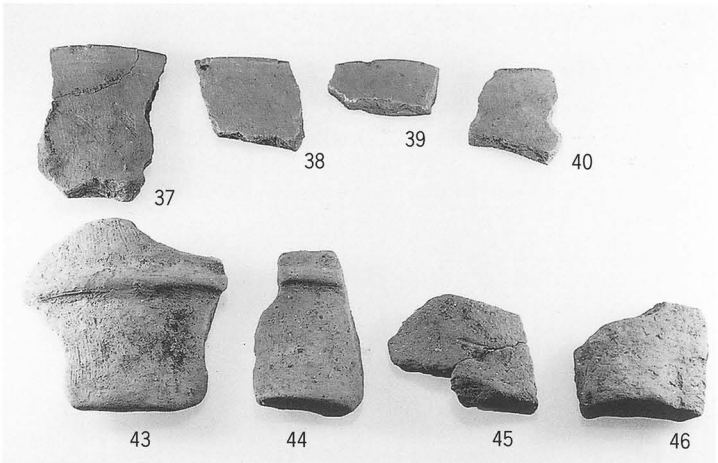


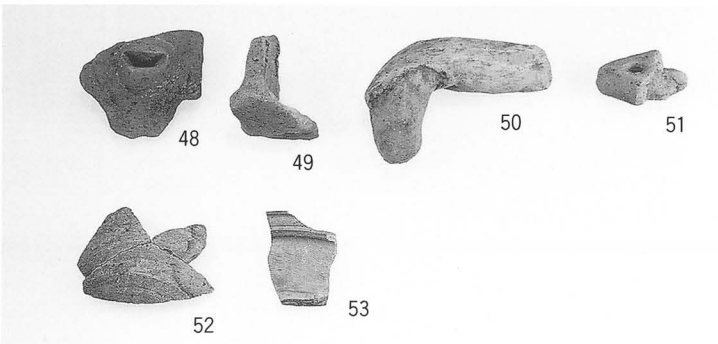


KB-2トレンチ出土遺物（２）

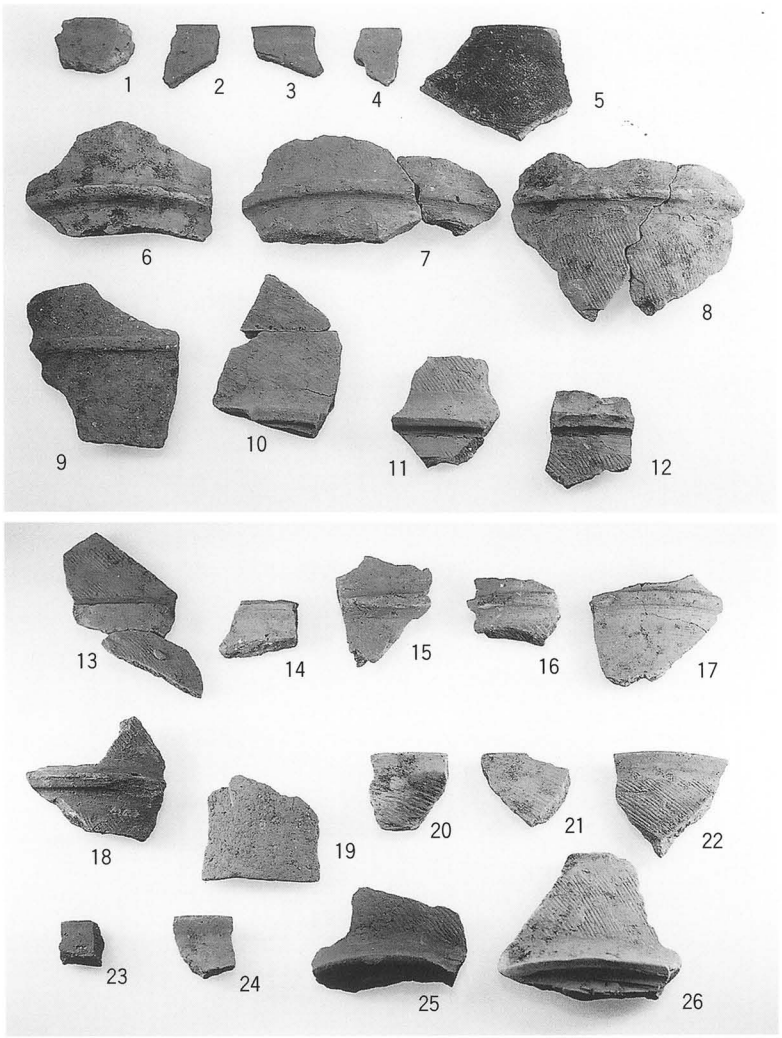


KB-2トレンチ出土遺物（３）

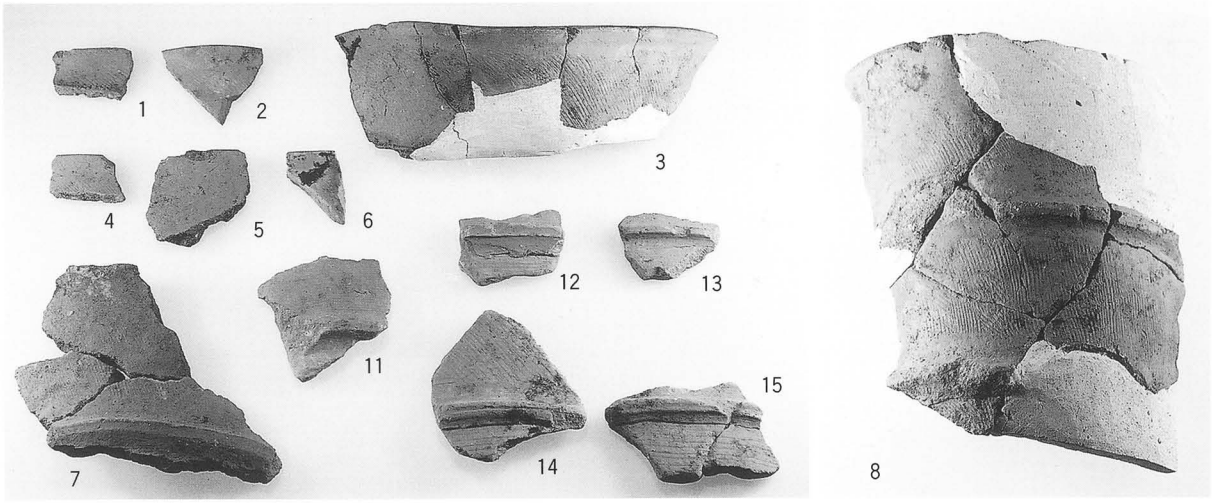




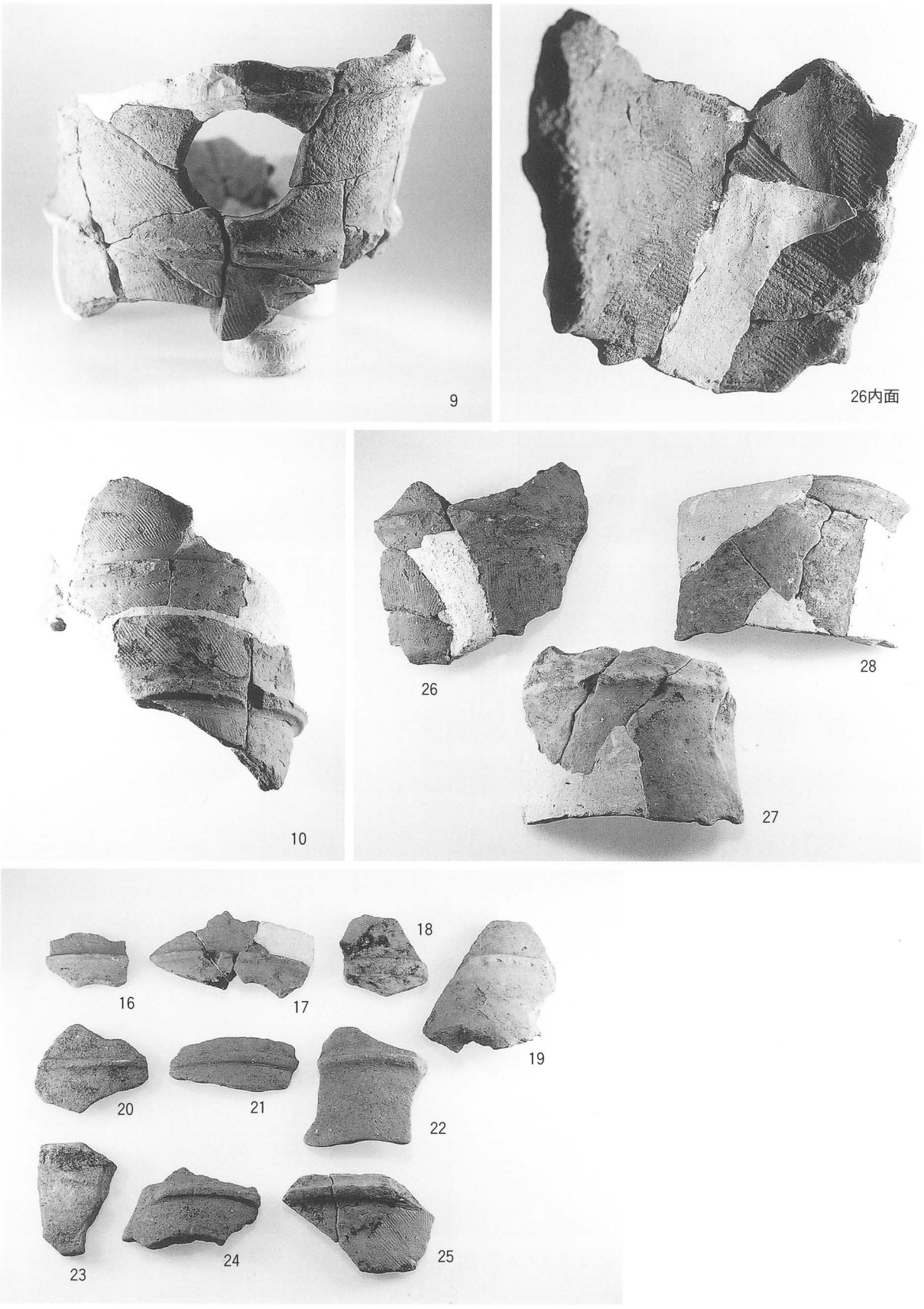
KB-2トレンチ出土遺物（４）



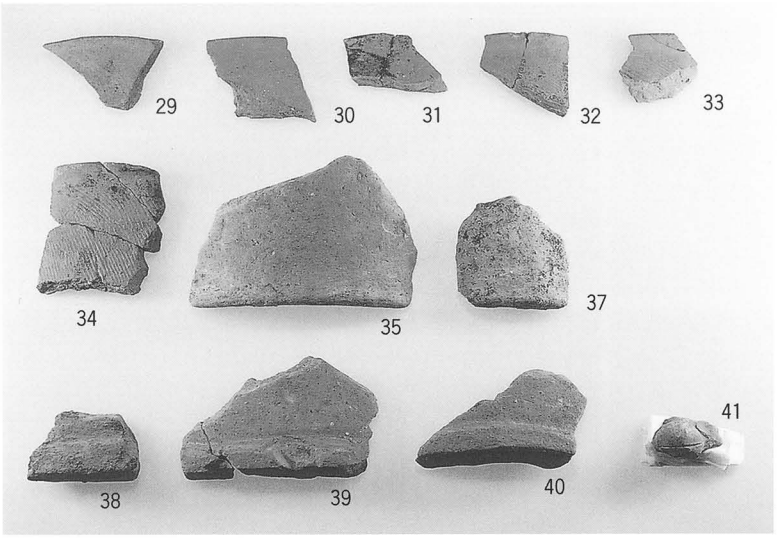
KB-3トレンチ出土遺物

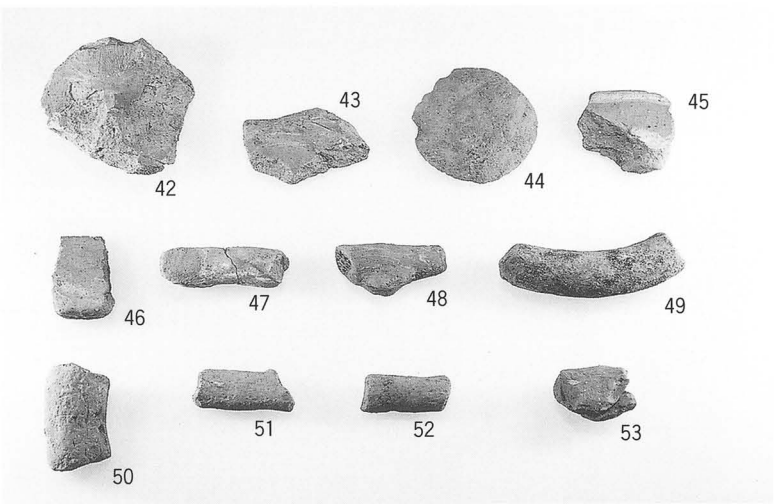


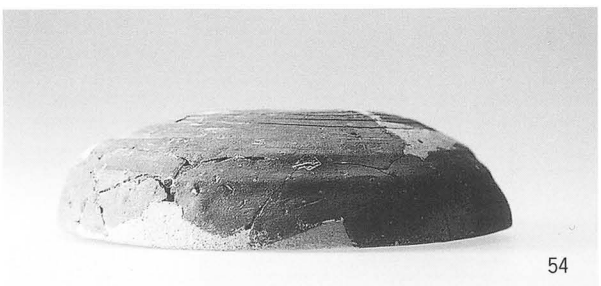
Z-1トレンチ出土遺物（１）

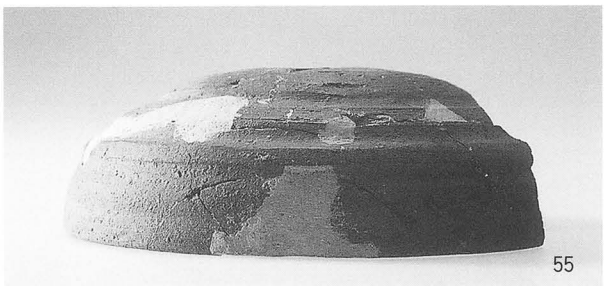


Z-1トレンチ出土遺物（２）

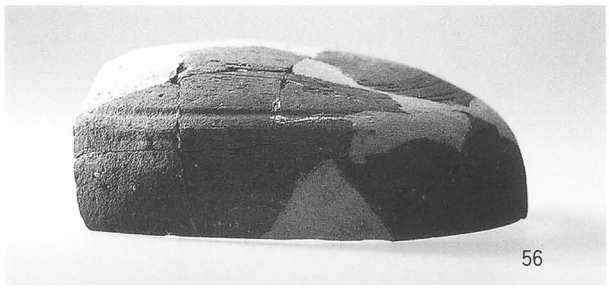


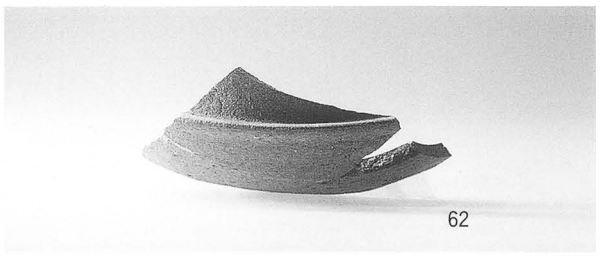


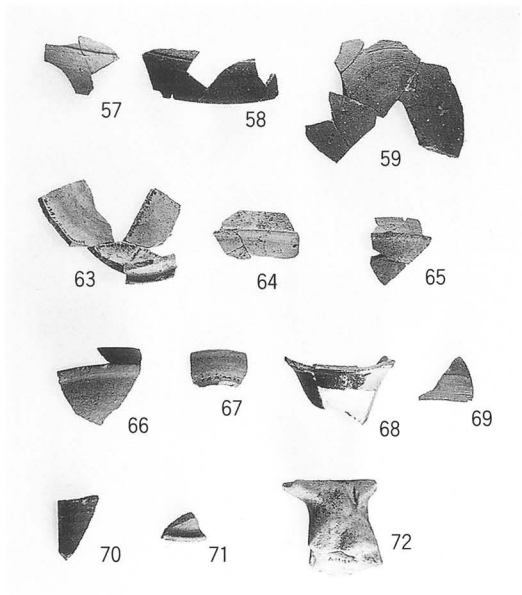




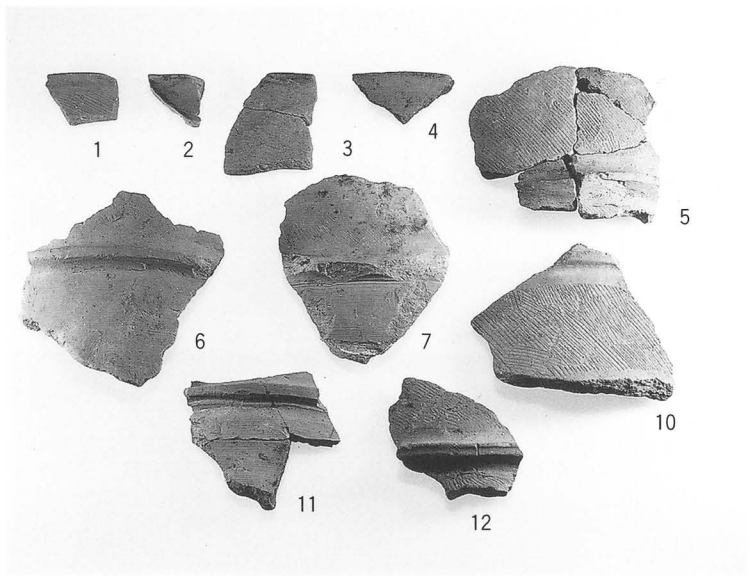
Z-1トレンチ出土遺物（３）

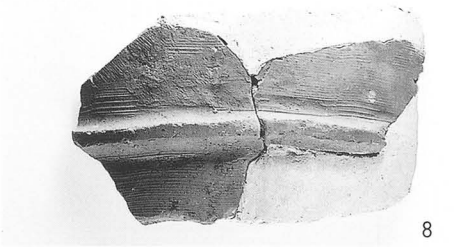


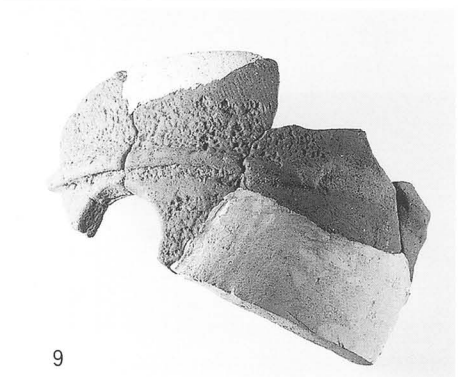




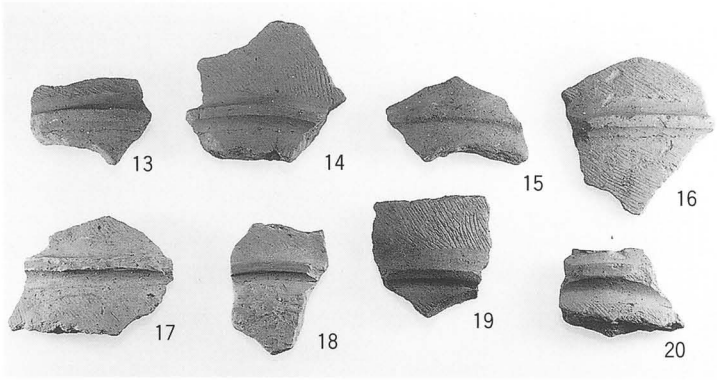
Z-1トレンチ出土遺物（４）

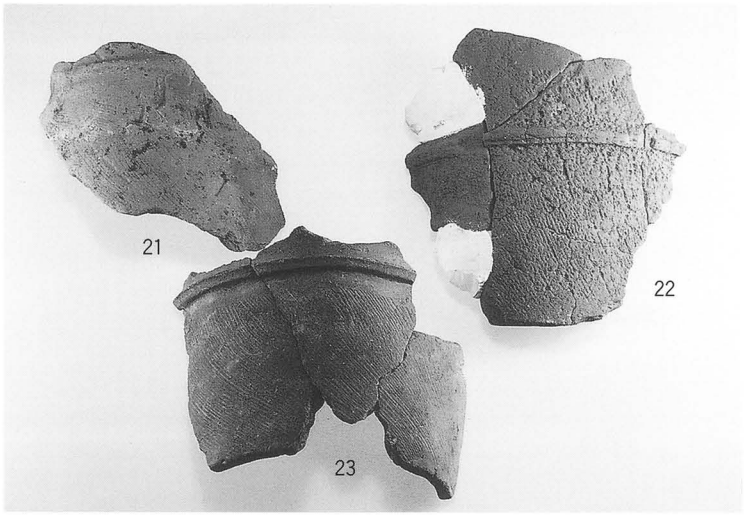


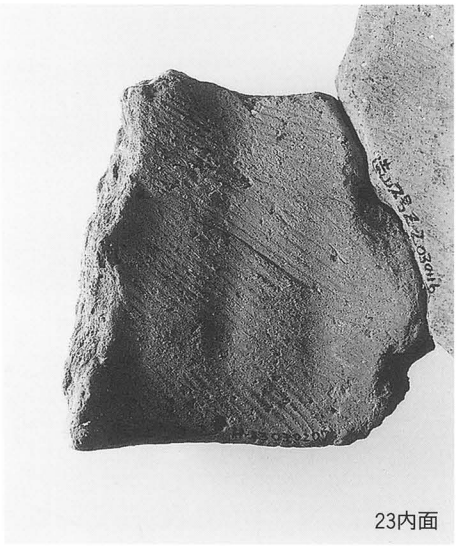


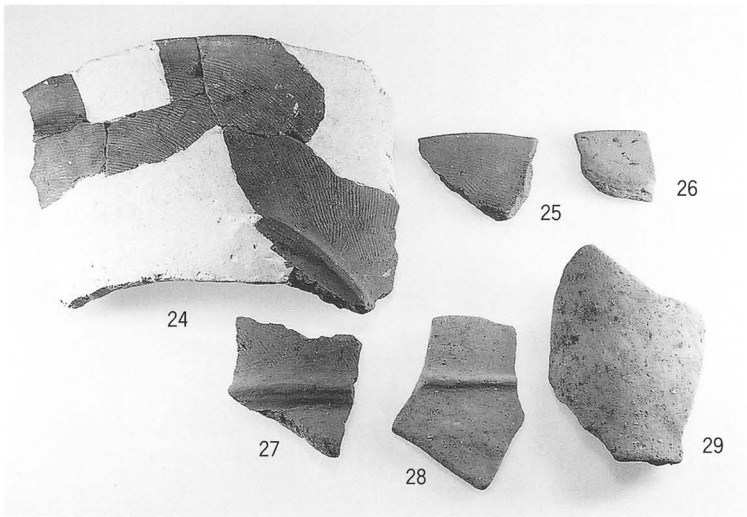


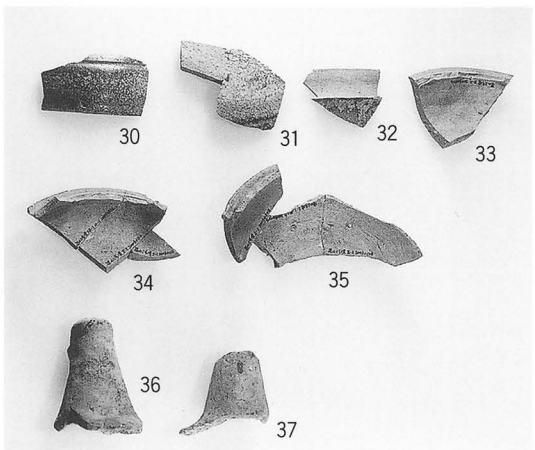
Z-2トレンチ出土遺物（１）



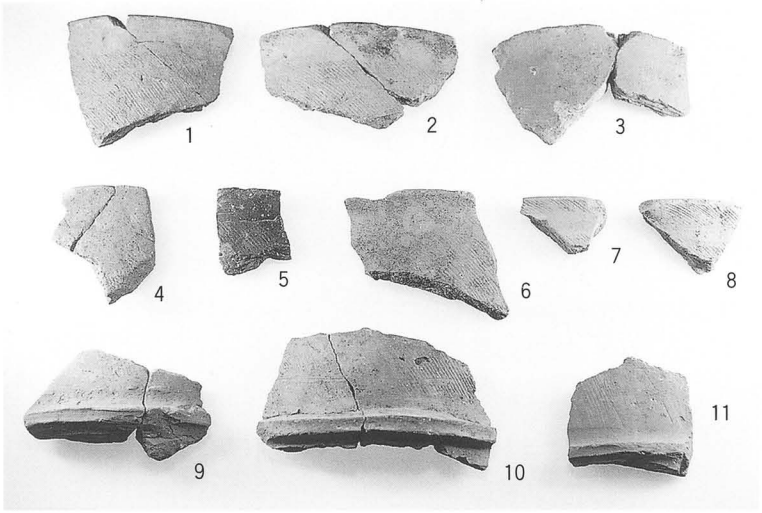




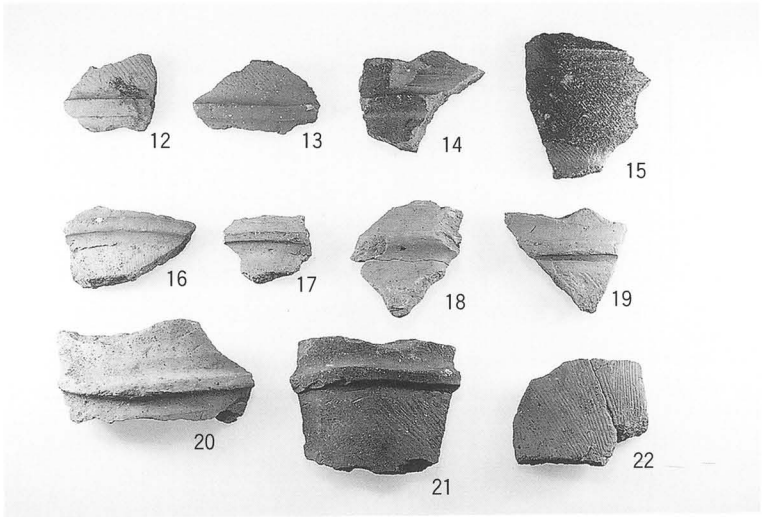


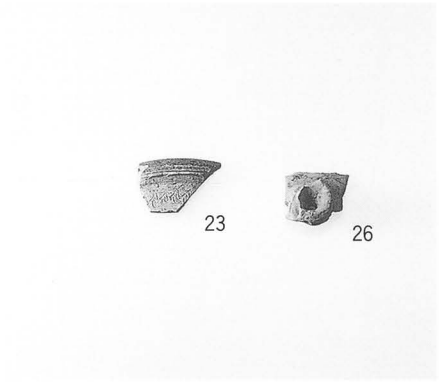


Z-2トレンチ出土遺物（２）

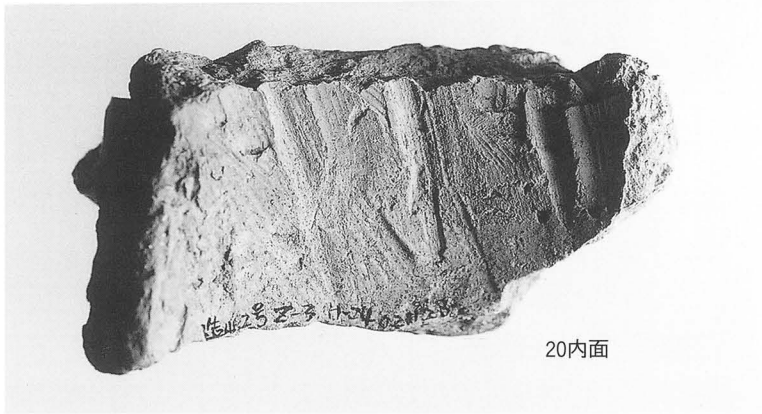

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

21内面


12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22


23
26

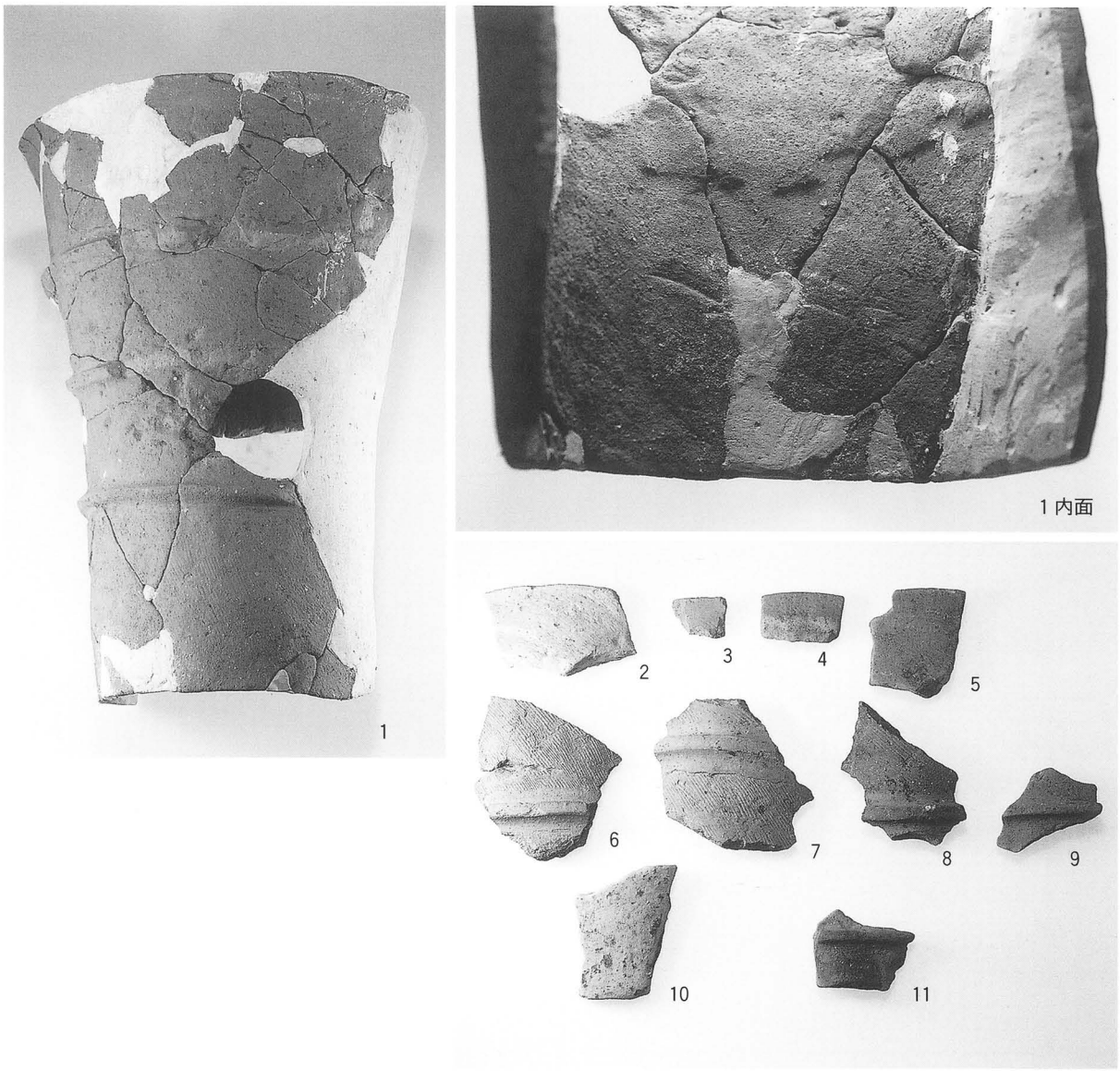
25


20内面

24

24

Z-3トレンチ出土遺物

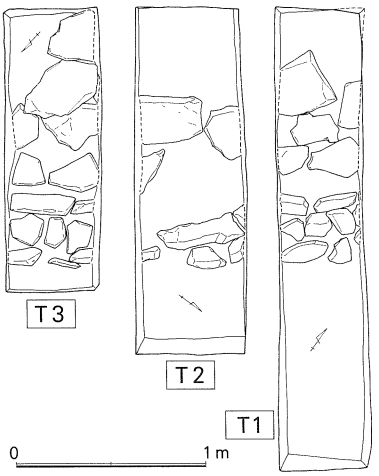


Z-4トレンチ出土遺物

第２節　仲仙寺古墳群仲仙寺支群

（１）仲仙寺支群9号墳範囲確認調査（第83・84図）

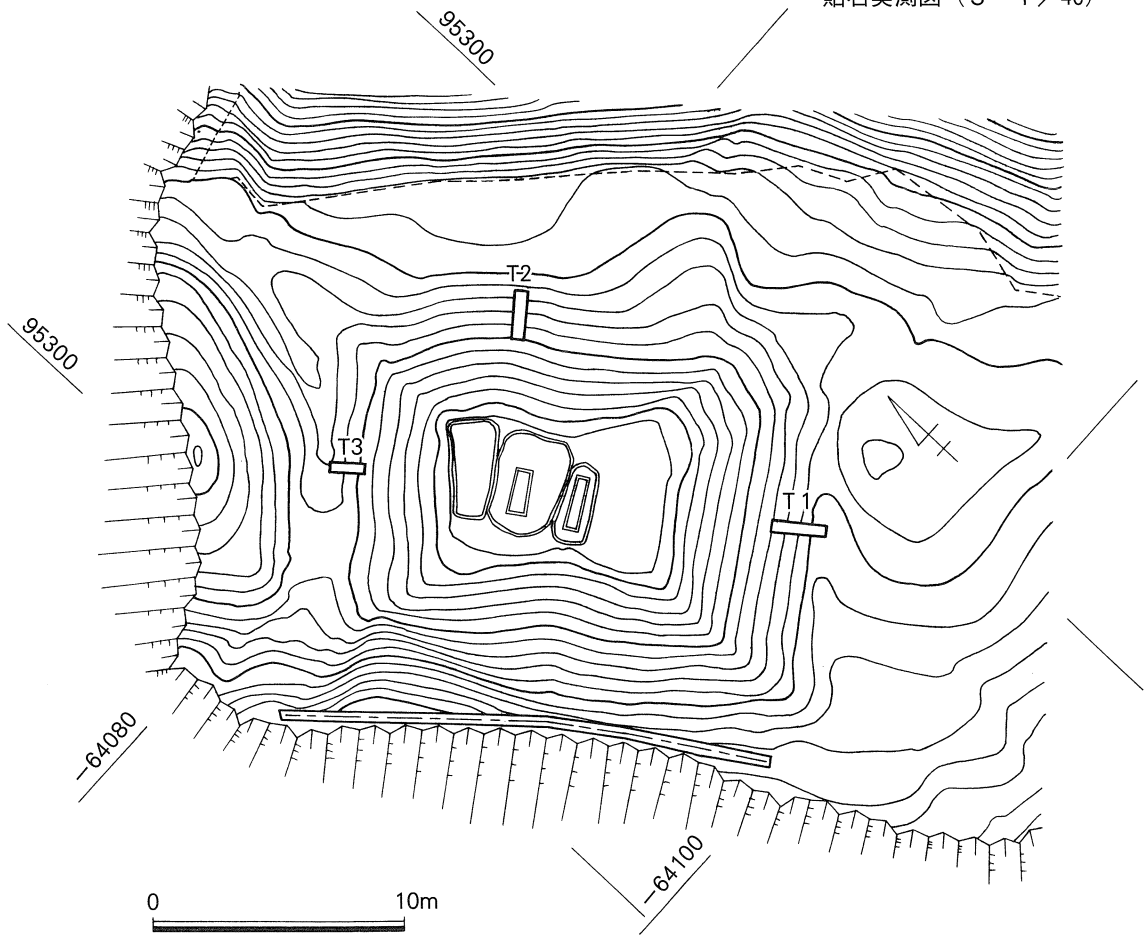
仲仙寺支群の整備において９号墳の墳丘端部を明示する工事を施行することとなり、そのため墳墓の正確な位置を探るため試掘調査を実施した。貼石の残存状況が悪い西南側斜面以外の３箇所にそれぞれ幅50ｃｍでトレンチを設定した。それぞれで貼石及び墳端を検出し、これを基準に墳丘明示工を施行した。なお、調査の結果は発掘調査時の図面とは完全に照合していない。これは発掘調査から整備されるまで６年間露出したままになっていたことから、貼石が自然崩落や遺跡を訪れる人によって外されたりしたからであり、また昭和51年度の整備工事の際に南東側の欠落転倒していた石列をもとになおしたり、東北側の斜面の石を旧位置と思える場所に移動しているからである。



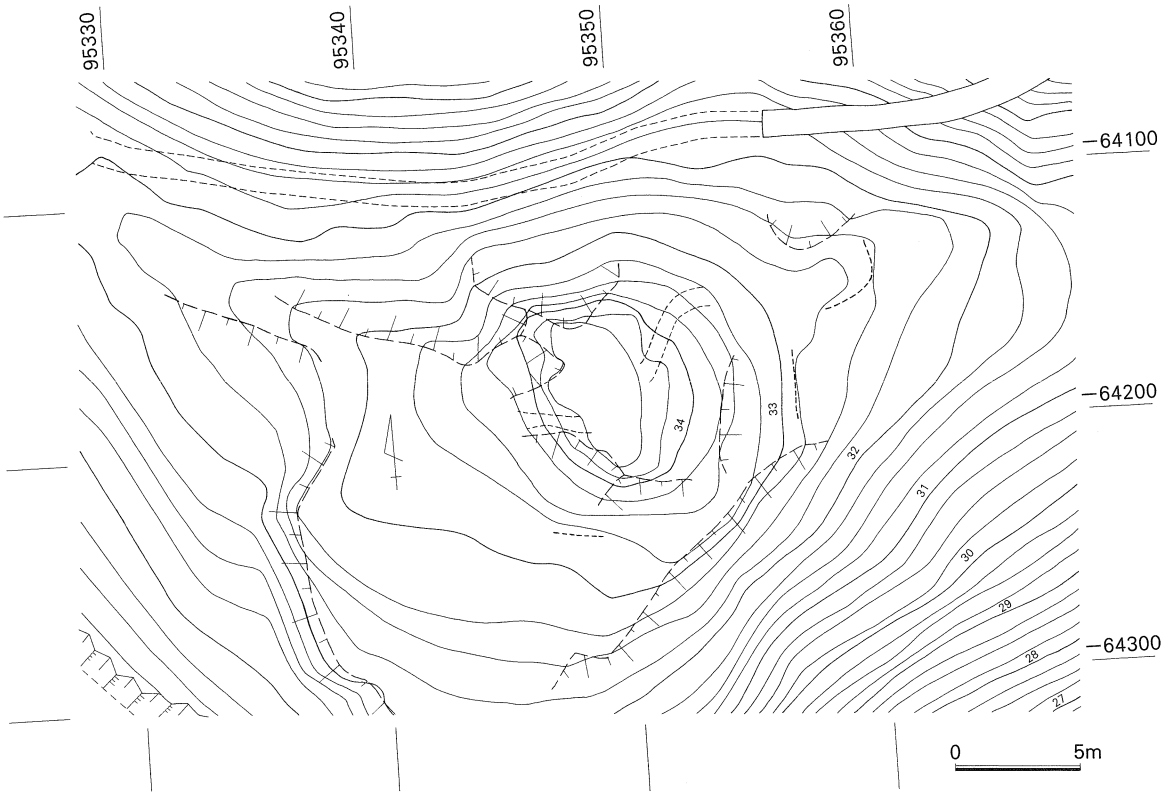
第83図　仲仙寺支群９号墳
貼石実測図（Ｓ＝１／40）

（２）仲仙寺支群８号墳測量調査（第85図）

仲仙寺支群の整備に伴い、８号墳の範囲を確認するために平成13年度に測量調査を実施した。８号墳は丘陵の最高所の標高33m付近に築かれている。墳丘は半壊しており、東北部は比較的残り



第84図　仲仙寺支群９号墳トレンチ配置図（Ｓ＝１／300）



第85図　仲仙寺８号墳地形測量図（Ｓ＝１／350）

がよいのに対し、西側は大きく削平を受けている。墳丘の残りの良い墳丘北東隅がわずかながら突出しており、四隅突出型墳丘墓の可能性を考えたい。現状の規模は、東西11.5m以上（突出部を含まない）、南北約11.0m、高さ1.75m、突出部の長さ約3.5mを測る。９号墳の発掘調査時（1970年）には墳丘の西側斜面に土器片が認められていたが、今回の測量調査では表採遺物を見つけることは出来なかった。また、墳丘裾付近には扁平割石が存在するが、本墳墓に伴うものかどうかは不明である。

（参考文献）

・島根県古代文化センター、島根県埋蔵文化財調査センター『島根県古代文化センター調査研究報告書16　宮山古墳群の研究』2003年
・島根県教育委員会『古曽志遺跡群発掘調査報告書－朝日ヶ丘団地造成工事に伴う発掘調査－』1989年
・島根県教育委員会『山代二子塚古墳整備事業報告書』2001年
・島根県立八雲立つ風土記の丘資料館『黄金に魅せられた倭人たち』1996年
・川西宏行「円筒埴輪総論」『考古学雑誌』19-3　1978年
・大谷晃二「出雲地域の須恵器の編年と地域色」『島根考古学会誌』第11集　島根考古学会
・藤永照隆「出雲の円筒埴輪編年と地域性」『島根考古学会誌』第14集　島根考古学会
・田辺昭三『須恵器大成』1981年
・安来市教育委員会『安来市造山古墳群発掘調査報告書』1992年
・安来市教育委員会『史跡仲仙寺古墳群　環境整備概要』1977年
・安来市教育委員会『仲仙寺古墳群』1972年

9号墳T1トレンチ貼石

9号墳T3トレンチ貼石

8号墳墳丘

報告書抄録

ふりがな	しせきあらしまこふんぐん・ちゅうせんじこふんぐん　せいびじぎょうほうこくしょ
書名	史跡荒島古墳群・仲仙寺古墳群　整備事業報告書
シリーズ名・番号	
編集者名	水口晶郎
編集機関	安来市教育委員会
所在地	〒692-0207　島根県安来市伯太町東母里580番地　TEL 0854-23-3316
発行機関	安来市教育委員会
発行年月日	2007年3月

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界標準座標値	調査面積	調査年月日
		市町村	遺跡			
つくりやま 造山古墳群 2号墳・4号墳	しまねけん やすぎし 島根県安来市 あらしまちょう 荒島町	32206	A66	X=－62780、 Y=93800	423m²	2002年8月 ～ 2004年3月
ちゅうせんじ 仲仙寺古墳群 8号墳・9号墳	しまねけん やすぎし 島根県安来市 にしあかえちょう 西赤江町	32206	A59	X=-64090、 Y=95310	29m²	2003年9月

調査原因	国庫・県費補助事業による遺跡の内容確認調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡	主な遺物	特記事項
造山古墳群 2号墳・4号墳	古墳	古墳時代	前方後方墳・方墳	円筒埴輪・朝顔形埴輪・形象埴輪・須恵器・土師器	1999年7月13日国指定史跡（名称：荒島古墳群）
仲仙寺古墳群 8号墳・9号墳	墳墓	弥生時代	四隅突出型墳丘墓		1971年8月12日国指定史跡

史跡荒島古墳群・仲仙寺古墳群
— 整備事業報告書 —

平成19（2007）年３月発行

発　行　安来市教育委員会
島根県安来市伯太町東母里580番地

印　刷　有限会社 赤徳印刷所
島根県安来市安来町1725番地